

平成 22 年度事業報告

平成23年5月16日

北陸経済連合会

【活動概況】

「第二次中期アクションプラン」(H18～22年度)の最終年度である平成22年度は、これまで5年間の取組みの総括・評価と「第三次中期アクションプラン」(H23～27年度)の策定、北陸新幹線の敦賀延伸に向けた活動の強化、厳しい経済情勢への対応等を重点方針として事業活動を推進した。

「第三次中期アクションプラン」の策定に当たっては、各施策の効果の確認と評価を行った上で、その改善点を反映させた他、「地域力分析」により抽出した北陸地域の課題と成長戦略をプランに織り込んだ。

北陸新幹線敦賀延伸の一括認可に向けた取組みでは、関西経済連合会等と共同で敦賀延伸による経済波及効果(960億円/年)を算定し、国土交通大臣に延伸を直接要望する等、行政や関係団体等と連携した働きかけを繰り返し行ったが、着工の決定は先送りされた。

一方、並行在来線に関しては、第三セクターの経営支援を国に要望してきたが、その支援枠組みが見直され、新たな財政措置が講じられる見通しとなった。

また、港湾連携の推進に向け、国、北陸三県と共同でのポートセールスを首都圏で初めて開催した他、広域観光のあり方を検討する産学官のワーキングを設置し、北陸のコア・コンピタンス(強み)を整理するとともに、「北陸物語」を編集・発行する等、北陸の認知度向上に向けた情報発信を行った。

産業の振興支援に関しては、イノベーション推進事業部が進める企業マッチングが軌道に乗りつつあり、商談まで進展する事例が見られるようになった。また、地域に即した人材育成を目的とした「高信頼システム情報交換会」等の取組みを着実に実施した。

東アジアとのビジネス交流に関しては、富山で開催した「第11回北陸・韓国経済交流会議」において、薬業専門分科会を初めて設置する等、より実務的なプログラムへと見直しを行った。

さらに、政権交代に伴うインフラ整備、産業、環境等に関する政策転換への対応の一環として、地元選出与党国会議員との勉強会を初めて実施した他、「産業構造ビジョン」、「TPP」に関する説明会の開催等により、国の新しい動きを適切に情報提供するよう努めた。

以上

第二次中期アクションプラン（H18～22年度）の評価

○各施策のPDCAを回し、第三次中期アクションプランの方向性を検討

(H23年3月)

活動方針	個別施策(P)	実施状況(D)	効果の確認(成果)	評価(C)	第三次中期APの方向性(A)
I. 人流・物流 の結節点 “北陸”の 構築	陸・海・空の 一体的基盤 整備促進	・北陸新幹線の建設促進に向けた要望活動実施 ・三県等と連携した中央要請の実施 ・敦賀までの一括認可: ・「H22 夏までに優先順位検討」(H21/12 基本方針) ・「敦賀以西の整備のあり方検討」(H22/8 検討会議) ・敦賀延伸に伴う整備効果調査を実施(H22/6) ・国交大臣へ要請(H22./7, 12)	・長野ー金沢工事実施計画: ・国交大臣が認可(H21/10) ・着工5条件のさらなる検討を 決定し、結論を先送り (H22/12)	・新政権発足等、状況変化に応じ、要請活動等を 適切に実施 ・金沢ー敦賀間の優位性を定量的に示し、一括認 可、早期整備を政府・民主党に働きかけたが、認 可着工が実現しなかった。引き続き、政府、民主 党への働きかけが必要	・H26年度末より一日も早い金沢開業に向けた活動 を推進する ・行政、関係団体、経済界(関経連等)と連携し、敦 賀までの工事実施計画の一括認可に向けて、代 替機能の定量化等、調査研究の取組みを強化す る
	・北陸新幹線 の建設促進	・並行在来線 の建設促進	・並行在来線貨物調整金総計1,000 億円(H23～32)計上 (H22/12 政府予算案)	・支援枠組みの見直し、新しい財源措置等、要望 してきた内容がある程度実現	・公表された支援策は、制度の詳細等が不明な部 分もあるため、収支改善効果の結果を踏まえ、 必要な調査、国への提言を実施
	・並行在来線	・並行在来線対策協議会への参画 ・第3セクター経営支援の確立を国に要望 (鉄道資産の無償譲渡等)	・東海北陸道全通(H20)他	・広域観光や物流の活性化に整備は不可欠	・地域の成長基盤としての整備を要望する
	・高規格幹線道路	・中部縦貫道・舞鶴若狭道 整備・開通効果調査(H20)	・北陸の港湾利用率(コンテナ): ・37.4%(H15)→42.3%(H20) ・国交省、日本海側拠点港選定 着手も震災で延期(H23/3) ・ポートセールス:50社(110人)参加 ・今後も参加希望73%	・地元港湾利用率は向上したが、全国的には低位 (8位) ・国による日本海側での拠点港整備の必要性認識 を評価 ・三県とポートセールスなどの連携施策を協議、 実施する体制(港湾勉強会)を構築	・港湾勉強会において、北陸港湾の連携、整備 促進に向けた検討を継続する
	物流結節点の 形成促進	・北陸における国際物流機能強化に関する提言策定 (連携による効率的港湾運営・機能強化等)(H19) ・港湾連携に向けた三県との勉強会を設置(H19～) ・共同ポートセールス実施(H22/10)	・北陸の日本人宿泊者数 (H15→H20) 21%減少 ・北陸物語アンケート(H23/3) ・「興味深い」88% ・「三県一体的発信が効果的」90%	・北陸での啓発活動から、都市圏等からの誘客に 向けた広域的な取組みへのシフトが必要 ・北陸広域観光戦略を実行する体制が必要	・三県連携による広域観光を推進する ・広域観光推進体制の強化 ・北陸の認知度向上に向けて戦略的に情報発信
・コンテナ輸送の 利便性向上等	・観光戦略セミナーの開催(3回) ・北陸広域観光戦略策定に参画(H21:北信越運輸局) ・北陸広域観光検討WG設置、方策検討(H22.10-H23.4) ・戦略的PRのあり方検討、北陸物語、着地プロ グラム試作・評価等	・三県の日本人宿泊者数 (H15→H20) 21%減少 ・北陸物語アンケート(H23/3) ・「興味深い」88% ・「三県一体的発信が効果的」90%	・イメージアップPRと観光PRが重複しており、区別 できない	・「定住」から「交流」(観光)に重点をおいた施策を 展開する	
II. 活力あふ れる地域 づくりの 推進	“癒し” & “潤 い”のある生活 拠点としての魅 力PR	[北陸イメージアップ推進会議の取組み] ・北陸への定住促進PR(H20～21) ・観光PR(北陸物語等)によるイメージアップ(H22)	・定住に繋がったケース H20:1件、H21:0件 ・北陸イメージ調査(H23/3) ・北陸来訪経験・意向が高い 層は、北陸のイメージ評価も高い	・イメージアップPRと観光PRが重複しており、区別 できない	・「定住」から「交流」(観光)に重点をおいた施策を 展開する
	産業の振興支援	・北陸STCサロン(～H20、計27回開催) ・目利き委員会(20回) ・イノベーション推進事業部(H21～) ・マッチング(26件実施) ・EV委員会(HIAC)事務局参加 ・組込みシステム講演会、高信頼システム情報交換 会開催(H21～)	・実用化助成支援事業 21件 ・マッチング成果 ・商談まで進展6件 ・情報交換会等開催 ・H21:4回(延べ96人出席) ・H22:6回(延べ73人出席)	・事業化支援等への環境変化を踏まえ、多対多 から1対1のマッチング、人材育成にシフト ・マッチングの成果が出始めており、粘り強い活動 が必要 ・組込みシステムの追加要請があるなど、北陸の 企業にとって関心の高いテーマであることを 確認したが、出席者は減少傾向	・マッチング件数を増やすほか、時流にあったテ ーマ設定による勉強会・懇談会を開催し、具体的 成果を目指す ・ロボット、コンバートEV等、新産業発掘のための 講演会、セミナー開催等
	・イノベーション創出	・東アジアを中心 とした海外との 経済交流等推進	・北東アジア経済フォーラム開催(H19) ・北陸・韓国経済交流会議の開催(H14～、計11回) ・中国東北・華北ミッションの実施(H20) ・アジア人財資金構想への参画(中部経済産業局主催) ・北陸企業の国際化調査の実施(H21～22)	・北陸企業の国際化調査 ・企業が国際化で求める情報 ①現地市場環境等 44% ②法制度、税制等 35% ③パートナー企業情報 25%	・(北韓会議)形式的な官民合同会議から、より 実務者ベースの会議に見直し ・海外展開を模索する企業は、進出等に必要 より専門的な情報や人材を求めている
III. 地方分権 型社会シ ステムの 構築	循環型社会シス テムの形成推進	・循環型社会システム構築に向けた調査(3回) ・三県連携による電気自動車実証試験実施(H20等) ・環境フェア出展(3回/年)	・北経連会員アンケート(H22.3) ・温暖化ガス25%削減が 経営に悪影響:52%	・経済界は、政府の温暖化ガス削減目標(90年比 25%削減)や環境税に強い懸念	・リサイクル推進から、低炭素社会形成に向けた 取組み、特に環境ビジネス支援への取組みに 重点を移す
	北陸地域内の 連携強化	・圏域設定に対する意見書作成(H18) ・広域地方計画策定協議会への参画(H19～21) ・「地方の活力を育む税財政制度等について」作成 (H19) ・道州制に対する提言書策定(H21) ・道州制ビジョン懇談会参加、プレゼン実施	・「国土形成計画法施行令」 ・「北陸圏」決定(H18/7) ・北陸圏広域地方計画大臣 決定(H21/8) ・道州制に賛成・反対が拮抗 (北陸住民へのアンケート)	・北陸三県からなる北陸圏が、「日本海側における 交流の中核拠点」として位置づけられた ・計画をフォローする体制を構築 ・道州制に対する理解は進んでいない	・北陸圏広域地方計画の実現に向けて、国・3県の 活動をフォローする ・活力あふれる自立した北陸圏づくりに向けた 取組みを推進する
IV. 事業活動 基盤強化	内外とのコミュニ ケーション強化	・政府等への要望活動(H21～) ・3県知事懇談会への一般会員参加開始(H21～) ・地元選出与党議員との勉強会実施(H22) ・経産省産業構造ビジョン、TPP説明会開催(H22～)	・会員メリットアンケート(H22.3) ・講演会等への参加 48% ・地域経済意見反映 44% ・行政への要望 43%	・政権交代に伴い、民主党、行政当局等との情報 交換の重要性が高まっている ・講演会参加、地域経済活性化への意見反映、 行政への要望が会員ニーズとして高い	・政党、行政当局等との定期懇談会を継続実施し、 機会を捉えて勉強会等を行う ・定期的に会員ニーズを調査し、要望の高い事業を 強化する
	・会員サービス向上	・他団体連携強化			

(注)「評価」・「第三次中期APの方向性」はH22年11月実施(並行在来線はH23年3月実施)

平成 22 年度事業活動報告（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

I 人流・物流の結節点“北陸”の構築

1. 陸・海・空の一体的基盤整備の促進（社会基盤整備委員会）

(1) 北陸新幹線の建設促進に向けた支援・要望活動

・調査活動

月日	項目	概要
6/25	「北陸新幹線の敦賀延伸に伴う整備効果」に関する調査実施	<ul style="list-style-type: none"> ・関西経済連合会、福井商工会議所との共同調査 ①交流人口：530万人増加 ②経済波及効果（2020年度）：960億円

・要請活動等

月日	項目	開催地	出席者	概要
5/31	富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会合同決起大会参加	富山	永原会長 犬島副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：約230名 ・決議採択
6/12	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会参加	福井	永原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：約200名 ・決議採択
7/2	前原国土交通大臣への要望	東京	永原会長 川田副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・関経連と共同で、敦賀延伸の工事実施計画の一括認可と早期整備を要望
7/24	北陸新幹線建設促進石川県民会議総会参加	金沢	永原会長 深山副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 約800名 ・決議採択
7/26	北陸新幹線に関する関西府県等ワーキング	大阪	吉村事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府、京都府、関経連等から15名参加 ・敦賀延伸の整備効果説明
7/29	民主党手塚副幹事長への要望書提出	東京	塩谷専務 吉村事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀延伸、大阪までの整備方針明確化等要望
8/9	北陸新幹線建設促進大会・中央要請参加	東京	永原会長 3副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：約340名 ・決議採択 ・政府・与党への要請活動
11/16	北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会との合同中央要請活動	東京	永原会長 深山副会長 川田副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸三県知事、新潟県知事、北信越五県議会議長らとともに政府・与党に要請活動実施
12/16	馬淵国土交通大臣及び民主党への要望	東京	永原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀延伸、並行在来線支援、鉄道運輸機構利益剰余金の優先的利用を要望

(2) 並行在来線に係る課題対策への支援

月日	項目	出席者
5/14	石川県並行在来線対策協議会幹事会への参加	塩谷専務
5/19	富山県並行在来線対策協議会幹事会への参加	吉村事務局長
5/31	富山県並行在来線対策協議会への参加	永原会長、犬島副会長
2/23	富山県並行在来線対策協議会幹事会への参加	吉村事務局長
3/25	石川県並行在来線対策協議会幹事会への参加	塩谷専務

(3) 高規格幹線道路の建設促進に向けた支援・要望活動

・ 要請活動

月 日	項 目	開催地	概 要
6/1	全国高速道路建設協議会総会への参加	東京	・ 国会議員への要望活動
6/17	東海北陸自動車道建設促進同盟会総会への参加	東京	・ 参加者：約 130 名
	東海北陸道地域整備推進協議会への参加	東京	・ 国交省等へ建設促進要請
11/25	東海北陸自動車道建設促進同盟会提言活動への参加	東京	・ 国交省へ東海北陸道地域整備推進協議会として建設促進要請
3/18	東海北陸道地域整備推進協議会パンフレット作成		・ 東海北陸道広域地域整備連絡会議と共同

2. 物流結節点の形成促進（物流機能強化委員会）

(1) 物流機能強化に向けた港湾関係機関との勉強会の継続実施

月 日	項 目	概 要
4/9	第 1 回	・ 共同ポートセールスの実施について
7/2	第 2 回	・ 北陸での日本海側拠点港の選定に向けての対応 等
12/20	第 3 回	・ H23 年度勉強会活動、各県・国の港湾に関する取り組み 等

(2) 北陸の港湾連携推進のための共同ポートセールスの実施

月 日	項 目	概 要
10/7	北陸 3 港（伏木富山港・金沢港・敦賀港）利用促進セミナー in 東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸地域の港湾整備状況・最近の港湾政策（北陸地方整備局）、港湾紹介（富山県・石川県・福井県）、北陸港湾の利点と将来の可能性に関する講演（日通総研 田阪取締役） ・ 50 社（110 名）参加

3. 広域観光の推進（広域観光推進委員会）

・ 北陸広域観光検討ワーキングの設置・開催

- ・ 北陸広域観光の推進方策を検討するため、北陸三県の産学官をメンバーとしたワーキングを設置

月 日	項 目	項 目
10/5	第 1 回	・ 北陸観光の現況・分析 等
11/12	第 2 回	・ 北陸のコア・コンピタンス、「北陸ブランド」の整理 等
12/10	第 3 回	・ 北陸物語、着地プログラムのコンセプト・試案 等
3/7	第 4 回	・ 北陸広域観光の体制づくり 等

・ 「北陸物語 vol.1」、「北陸広域観光モデルルート改訂版」の発行

- ・ 平成 23 年 1 月、各 3,000 部発行

4. 東アジアを中心とした海外との経済、文化交流の推進

(国際交流推進委員会／北陸 AJEC と連携した取組み)

(1) 東アジアとのビジネス交流の推進

・ 第 11 回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催

月 日	開催地	概 要
8/3～5	富山	・参加者：北陸側 164 名、韓国側 36 名 ・北陸・韓国産業交流セミナー、パネルディスカッション、 薬業専門分科会、産業文化施設視察等

・ FOOD EX JAPAN 2011 へのブース出展

月 日	開催地	概 要
3/1～4	幕張	・中部国際化支援会議(中部経済産業局事務局)との共同出展 ・北陸各県の企業誘致や観光 P R

(2) 東アジアへの進出に関する情報収集・提供

・ 北陸企業の国際化と今後の展開に関する調査 および 提言とりまとめ

- ・ 中部経済産業局と共同で、北陸企業の国際化の実態把握、成功へのポイントや課題・問題点の整理、従来の海外展開支援策の点検等を実施 (H21/11～H23/2)
- ・ 検討委員会(有識者、自治体、企業で構成)の開催

月 日	開催地	概 要
6/29	金沢	・調査検討内容について
12/3	金沢	・国際化推進方策に関する調査とりまとめ骨子(案) ・北陸地域における企業活動の国際化支援施策集について
2/10	金沢	・国際化推進方策に関する調査報告書(案)について ・北陸地域における企業活動の国際化事例集について 等

・ 報告、事例発表

月 日	開催地	概 要
12/1	富山	・参加者：26 名 ・テーマ：「おもてなしの心」でアジア需要を取り込む ・講師：小田 禎彦氏(株加賀屋代表取締役会長)他
12/2	金沢	・参加者：22 名 ・テーマ：高付加価値製品に特化し、アジア市場を開拓 ・講師：吉岡 隆治氏(第一織物株代表取締役社長)
2/16	金沢	・参加者：17 名 ・国際化推進方策報告 ・事例発表：アジアNo.1を目指す、欧州企業と提携したモノ作り展開 ・講師：宮村 正司氏(株トヨックス代表取締役社長)

・ ベトナムにおける貿易投資環境に関する調査の実施

(北陸産業活性化センターと共同で実施)

- ・ベトナムにおける貿易投資環境に関する視察・報告書作成 (H22/11～H23/2)

・ 北陸と韓国におけるヘルスケア分野での連携可能性調査の実施

(中部経済産業局と共同で実施)

- ・北陸と韓国におけるヘルスケア分野での連携可能性に関する視察 (H23/3)

・環日本海講演会の開催支援（北陸 AJEC 主催）

月 日	開催地	概 要
8/9	福井	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：約 40 名 ・演 題：「北陸での日本海側拠点港の必要性」 ・講 師：宮田秀明氏（東京大学大学院教授） ※ジェトロ福井貿易情報センター、福井商工会議所との共催
12/16	金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：約 30 名 ・演 題：「日本企業の海外事業展開の動向と課題」 ・講 師：大庭栄介氏（JBIC 西日本国際営業部総務課長） ・演 題：中国における新たなビジネス展開 ・講 師：中島久雄氏（野村総研部長・主席コンサルタント） ※日本政策金融公庫 国際協力銀行との共催

・情報機関誌発行による情報提供活動（北陸 AJEC）

・ えーじえつくればーと	51号(7月)、特別号、52号(3月)	3回発行
・ ウォームトピック	93号(5月)～98号(3月)	6回発行

(3) 東アジアを見据えた人材の育成、活用の推進

月 日	開催地	概 要
9/27	金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・「アジア人財資金構想 高度実践留学生との交流会」※ ・参加者：企業 5社、外国人留学生 5名

※中部経済産業局と共催(アジア人財資金構想との連携事業)

(4) 国際交流推進委員会

月 日	項 目	概 要
12/21	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・H22 年度委員会活動報告・H23 年度委員会活動計画案 ・北陸地域における企業活動の国際化推進方策に関する調査報告 ・講演：「北陸企業の海外（中国）事業展開について」 ・講師：飯田博明氏（ギャレックス㈱ 取締役副社長） ※北陸 AJEC 企画部会と合同実施

II 活力あふれる地域づくりの推進

1. 産業の振興支援（先端技術推進委員会）

(1) 北陸の技術・ノウハウを活かしたイノベーションの創出

① マッチング事業

月 日	開催地	概 要
H22.4 ～H23.3	北陸三県 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング件数 16 件 （うち商談までの進展事例 6 件）

② 勉強会・懇談会等

・スマートグリッドに関する勉強会

月 日	開催地	概 要
4/21	金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：96 名 ・演題：低炭素社会の実現に向けた東芝のスマートグリッドへの取り組み 講師：渡部洋司氏（㈱東芝 電力流通・産業システム社部長） ・演題：米国の最新技術動向 ―グリーンニューディールとスマートグリッド 講師：馬場由頭氏（㈱三井物産戦略研究所室長）

・経済産業省「産業構造ビジョン」説明会

7/21	金沢	<ul style="list-style-type: none"> 参加者：60名 経済産業省「産業構造ビジョン」説明会、意見交換会 講師：大臣官房審議官 北川慎介氏
------	----	---

・福井県陽子線がん治療センター見学会／講演会

月日	開催地	概要
8/3	福井	<ul style="list-style-type: none"> 参加者：26名 見学会：陽子線がん治療に関する諸装置(回転ガンリ等) 講演 <ul style="list-style-type: none"> 演題：「脳神経外科手術の実際と必要とされる工学技術」 講師：菊田健一郎氏（福井大学医学部教授） 演題：「がん診療のためのPET分子イメージング」 講師：岡沢秀彦氏（福井大学高エネルギー医学研究センター長）

・植物工場で甘草を生産する技術説明会

月日	開催地	概要
1/28	富山	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島建設(株)、(独)医薬基盤研究所、千葉大学が共同開発した薬草「甘草」の水耕栽培技術に関する紹介 参加者：100名 講師：斎藤俊哉氏（鹿島建設(株) 次長）他

・「次世代自動車フォーラム in 北陸」キックオフミーティング

月日	開催地	概要
2/24	金沢	<ul style="list-style-type: none"> コンバートEV試作車の開発概要（仕様、開発費用等）に関する産官学の意見交換

③調査事業

・「北陸の優れた製品・輝く技術」(「北陸のシェアトップ100」続編)の作成

月日	概要
10/26	<ul style="list-style-type: none"> 発行部数：3,000部 掲載社数：41社（富山16社、石川14社、福井11社）

・「次世代ロボット研究会(仮称)」の立ち上げに向けた検討

月日	項目	開催地	概要
H22.12 ～H23.1	北陸の主要7大学訪問	北陸3県	<ul style="list-style-type: none"> 7大学（富山大、富山県立大、金沢大、金沢工業大、北陸先端大、福井大、福井工業大）の産学連携窓口訪問
2/17	WABOT-HOUSE 研究所視察	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学および意見交換

④展示会への出展PR等

月日	項目	開催地	概要
10/21～22	北陸技術交流テクノフェア2010	福井	展示会（北陸企業・団体3者の出展支援）
H22.4 ～H23.3	他経連との連携による域外への企業PR実施	関西地域	「けいはんなニューズレター」への企業紹介掲載（計7社）

(2) 地域の産業に即した人材の育成

・「高信頼システム情報交換会・北陸」の開催（北陸先端大との共催）

月 日	開催地	概 要
4/27	石川ハイテク 交流センター (能美市)	第2回情報交換会：参加者：5名 ・講演講師：落水浩一郎氏（北陸先端大教授） 演題：「人材育成と技術力向上」 ・施設見学（(独)情報通信研究機構 北陸リサーチセンター）
5/12～14	東京 ビッグサイト	『第13回組込みシステム開発技術展』で「高信頼システム情報交換会・北陸」の活動状況に関するポスター展示PRを実施
7/28	北陸先端大	第3回情報交換会：参加者：11名 ・講演講師：小坂満隆氏（北陸先端大教授） 演題：「産業のサービス化とサービスサイエンスの動向」
9/10	北陸先端大	第4回情報交換会：参加者：11名 ・講演講師：鈴木延保氏（アイシン精機(株) 第一電子系技術部） 演題：「IC情報科学技術の発展とITS化、ロボット化が進む自動車の革新」
11/24	富山	第5回情報交換会：参加者：8名 ・テーマ：「PBLはOJTに替わるか」 ・講師：鈴木正人氏（北陸先端大准教授） 西川幸延氏（北陸日本電気ソフトウェア(株)グループ マネージャー）
1/15	金沢	第6回情報交換会：参加者：38名 ・テーマ：「日本の企業における品質管理の課題」 ・講師：矢嶋健一氏（(株)i.JTB チームマネージャー） 瀬尾明志氏（日本ユニシス(株) 室長） 板橋吉徳氏（パナソニック(株) 主任技師） 艸薙 匠氏（(株)東芝グループ長）

・セミナー「活力ある地域産業の創造に向けて」

月 日	開催地	概 要
1/18	金沢	・参加者：57名 ・演題：「金属とカーボンナノチューブの複合化に関する最近の研究内容」 近藤勝義氏（大阪大学 教授） ・演題：「日韓企業の競争力：サムスン・現代の強さと課題を踏まえて」 林廣茂氏（同志社大学大学院 教授）

(3) 先端技術推進委員会開催

月 日	開催地	概 要
9/24	第1回	《第1部》委員会 ・北陸の地域力分析調査結果（北陸の製造業の課題等）等 《第2部》講演会 演題：「新しい生体計測技術の医療・福祉・健康分野への応用」 講師：山越 憲一氏（金沢大学 教授）
3/24	第2回	《第1部》委員会 ・平成23年度事業活動計画（案）等 《第2部》講演会 演題：「世界最先端の地理情報・衛星測位情報がビジネスを変える」 講師：吉田富治氏（(財)衛星測位利用推進センター本部長） 演題：「KIT空間情報プロジェクトと北陸地区における準天頂衛星実証実験について」 講師：鹿田正昭氏（金沢工業大学 教授）

(4) 国内外企業の誘致推進（北陸国際投資交流促進会議 略称「北投促」）

・大規模産業展示会への出展（ブース展示、DVD 上映）

月日	項目	開催地	概要
10/5～9	シーテック ジャパン	幕張 メッセ	・出展社数：616 社 ・入場者数：約 18 万人 ・アンケート回収数：710 件
10/27～30	メッセ ナゴヤ	ポートメッセ 名古屋	・出展社数：450 社 ・入場者数：約 4 万人 ・アンケート回収数：310 件

2. 低炭素・循環型社会システムの形成推進（北陸環境共生会議）

(1) 地球環境保全・資源エネルギーの有効利用に関する啓発活動の実施

① 環境セミナーの開催

月日	開催地	概要
4/19	金沢	・参加者：約 120 名（環境省中部地方環境事務所と共催） ・講師：鈴木克徳氏（金沢大学特任教授）林希一郎氏（名古屋大学教授） ・パネルディスカッション： 低炭素社会実現・生態系変化に企業はどう対応するべきか

② 三県環境フェアへの出展等

月日	項目	開催地等	概要
5/22	ふくい環境フェア 2010	福井駅東西口広場 来場者数：1.5 万人	①試乗会 ・電気バス ・電気自動車
8/21, 22	いしかわ環境フェア 2010	産業展示館 来場者数：2.2 万人	②展示 ・三県リサイクル 認定製品
10/30, 31	とやま環境フェア 2010	高岡テクノドーム 来場者数：1 万人	

(2) 環境型ビジネスの支援

	概要
8/20	・北陸の環境技術・製品事例集発行（2,000 部） ・北陸の優れた環境技術および環境製品（76 社 76 製品）を掲載

3. 自然と都市機能とが共生する生活拠点の形成促進（北陸イメージアップ推進会議）

・生活・交流拠点としての魅力PR

- ・北陸のイメージに関するアンケート実施（回答者：三大都市圏在住者 1,763 名）
- ・北陸への来訪経験・来訪経験別に、北陸のイメージ、情報入手経路等を分析

Ⅲ 地方分権型社会システムの構築

1. 北陸地域内相互の連携強化

(1) 国土形成計画等への対応（社会基盤整備委員会）

- ・国、自治体等と連携した北陸圏広域地方計画実現に向けた取組み推進

①北陸選出与党国会議員との懇談会

月日	開催地	概要
4/20	東京	・出席者：国会議員 10 名、新木会長、永原副会長 他 ・内 容：「北陸圏広域地方計画」に関する意見交換

②北陸圏広域地方計画協議会等への参画を通じた計画のフォローアップ)

月日	開催地	概要
6/8	富山	・第24回北陸圏広域地方計画作業チーム打合せ ・内容：北陸圏広域地方計画 平成21年度の推進状況について
6/30	福井	・第6回北陸圏広域地方計画協議会幹事会 ・内容：北陸圏・中部圏広域地方計画 平成21年度の推進状況について意見交換、決議後公表

(2) 北陸地域の自律と持続的成長に向けての取り組み推進（総合対策委員会）

- ・平成23年度政府予算等に対する要望活動の実施

月日	項目	概要
5月～ 6月	WG	・WGメンバー：13業種、16名 ・WG開催実績：2回
7/29	要望活動 (東京)	・「政府に対する北陸経済界からの要望書」を関係省庁、各党幹部に提出

○ その他の事業活動

1. 「第三次中期アクションプラン」(H23～27年度)策定（総合対策委員会）

- ・「第二次中期アクションプラン」(H18～22年度)の総括・評価
- ・北陸地域の自律戦略の検討・策定
- ・北陸の製造業における課題を踏まえた成長戦略の検討

月日	項目	概要
5月～		「地域力を踏まえた北陸地域の戦略検討調査」(H21から継続) ・自治体・業界団体・有力企業等へのヒアリング（検証）
7/8	総合対策 委員会	・ヒアリング実施と戦略案への反映（中間報告） ・北陸地域の製造業における課題の検証（四国との比較）
9/24	先端技術 推進委員会	・北陸の地域力分析 調査結果（北陸の製造業の課題等）について〔意見交換〕
11/15	総合対策 委員会	・第二次中期アクションプランの評価 ・地域力を踏まえた北陸地域の戦略検討調査（報告書案） ・第三次中期アクションプラン骨子案

2. 関係機関との連携活動

- ・行政当局や他経済連合会等と連携した提言・要望活動等の実施

(1) 第15回三経連経済懇談会（北陸・北海道・東北の3経済連合会で構成）

月日	項目	開催地	概要
9/13	経済 懇談会	富山	・参加者 47名、内北経連 26名 ・基本テーマ「地域の新たな挑戦」 ・決議採択 1. 経済対策の機動的な実施 2. 地域産業の競争力強化に向けた支援体制・制度の整備 3. 地域社会・経済の広域的な発展を支える社会資本整備推進 4. 地方分権の推進 5. 実効ある地球温暖化防止対策の検討
11/4	要請 活動	東京	・3経済連合会合同で、決議内容を民主党、国土交通省に要請

②第 52 回 西日本経済協議会（西日本の 6 経済連合会で構成）

月 日	項 目	開催地	概 要
11/10	総会	広島市	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 約 200 名、内北経連 15 名 ・統一テーマ「地域の自立と連携による新たな成長を目指して－西日本からの提言－」 ・決議採択 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の自立・発展に向けた新たな成長戦略の推進 2. 持続的成長に向けた重要課題への的確な対応 3. 道州制の実現に向けた改革の推進 4. 地域の自立と連携に不可欠な社会基盤整備の促進 産業の振興・育成と成長力基盤の強化
12/2	要請活動	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・6 経済連合会合同で、決議内容を民主党、国土交通省、経済産業省、総務省等に要請

(2) 第 37 回 日本経済団体連合会との懇談会

月 日	開催地	概 要
10/26	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 経団連 31 名、北経連 110 名 ・基本テーマ「民間活力で経済を再生し地域づくりに貢献する」

(3) 第 38 回北陸三県知事との懇談会

月 日	開催地	概 要
11/15	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：北陸三県の各知事、北経連 80 名 ・テーマ：「社会資本の整備に向けて」 「北陸地域の自律的・持続的発展に向けて」

(4) 第 18 回北陸地域懇話会

月 日	開催地	概 要
2/8	福井	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：北陸地方整備局、北陸信越運輸局等 13 名北経連 24 名 ・テーマ：「北陸、近畿の地域づくり」、「北陸の運輸・観光」

(5) 第 17 回中部・近畿経済産業局との懇談会

月 日	開催地	概 要
3/9	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：北経連 37 名 両経産局 9 名

< 定期総会・役員会等の実施状況 >

1. 平成 22 年度定期総会・特別講演会

月 日	概 要
5/18	<ul style="list-style-type: none"> ○定期総会 <ul style="list-style-type: none"> ・議 案 <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 号議案：平成 21 年度事業報告及び決算承認の件 ・第 2 号議案：平成 22 年度事業計画及び収支予算審議の件 ・第 3 号議案：役員任期変更の件 ・第 4 号議案：役員改選の件 各議案について原案通り可決承認 ○特別講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・講 師：北畑 隆生氏（前経済産業事務次官） ・演 題：「人口減少を克服する成長戦略と地域の活性化」

2. 役員会等

(1) 常任理事会

月日	項目	概要
4/21	第311回	・平成22年度定期総会付議事項協議、報告事項
7/21	第312回	・平成23年度政府予算等に対する要望書(案)審議 ・「北陸新幹線の敦賀延伸に伴う整備効果」調査報告
12/15	第313回	・第三次中期アクションプラン(案)審議 ・並行在来線問題について

(2) 理事会

月日	項目	概要
5/18	第87回	平成21年度定期総会付議事項協議
3/30	第88回	東北経済連合会を通じて東日本大震災の義援金200万円を支出(書面審議)

<広報活動等の実施状況>

1. 会員相互のコミュニケーションの充実

・会員懇談会の開催

月日	開催地	概要
10/21	福井	・参加者17名 ・記念講演 講師：益子修氏(三菱自動車(株)社長) 演題：「電気自動車が切り拓く『自動車の次の100年』」 ・「北陸技術交流テクノフェア2010」視察
12/3	金沢	・参加者52名 ・記念講演 講師：藻谷浩介氏((株)日本政策投資銀行 参事役) 演題：「デフレの正体と地域企業の対処戦略」
12/13	富山	・参加者55名 ・記念講演 講師：林成之氏(脳科学者 日本大学教授) 演題：「ビジネスに勝負脳を発揮する知能と人間力の脳科学」

・新春経済懇談会

月日	開催地	概要
1/26	金沢	・参加者141名 ・特別講演 講師：味岡桂三氏(日本銀行 金沢支店長) 演題：「羽ばたけ北陸経済」

2. 広報広聴・情報提供の充実

・情報提供活動

	概要
「年頭記者会見」	・第三次中期アクションプラン公表(H23.1.26)
「会報」	・第196号(4月)、第197号(8月) 第198号(1月)
「北経連トピック(FAX通信)」	・第87号(H21.4.16)～第100号(H23.3.18)
「景況などに関する 会員アンケート調査結果」	・第23回調査結果(3月調査)：5月公表 ・第24回調査結果(8月調査)：10月公表
「会員名簿」	・8月 改訂版発行

以上